



スマートなホスピタリティ業務で、 従業員エンゲージメントを高める ノムラ・インターナショナルPLC

日本の投資銀行がHP Engage Oneを採用し、ケータリングプロセスを合理化して、
デジタルかつキャッシュレスな環境を実現

業界
金融サービス

ノムラ・インターナショナルPLCとは
野村證券は日本の投資銀行であり、世界
30か所以上の拠点で事業を展開していま
す。ロンドンに本社を置くノムラ・インター
ナショナルPLCは、最新かつ最高のテクノ
ロジーをスタッフと顧客に提供するという
目標を掲げています。HP Engage Oneと
HP Engage One Primeを採用すること
で、銀行のホスピタリティ環境を合理化し、
ユーザー体験をパーソナライズ化を可能
にしました。

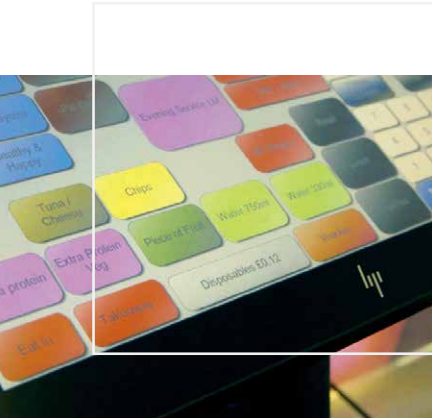
課題

競争の激しい市場における従業員の福利厚生

金融サービス業界は、長時間労働が求められることが多く、競争の激しい業界でもあります。野村では、社員第一主義の重要性を認識し、ロンドンオフィスの4,000人の社員が健康的に働ける環境の整備・維持に努めています。最先端の空間をつくるために、敷地内にジムや高級ダイニングルーム、街を見渡せる日本庭園などを備えているのです。社員食堂では、庭園で栽培された新鮮な食材を提供しています。「当社は、健康と福祉に多大な投資を行っています。」と、ノムラ・インターナショナルPLCロンドンの、施設管理担当ポール・ガーデナー氏は述べます。「ポジティブな職場環境を作ることが重要です。それがスタッフを惹きつけ、維持する上での、我々独自のセールスポイントだと感じています。」

このことには、物理的な環境が大きく関わっています。野村は、ビジネスのあらゆる面で、モダンで洗練されたイメージを大切にしています。野村が最近評価した分野の一つに、ケータリングがあります。ガーデナー氏は、作業を合理化する機会であることを認識していました。「私たちは、年間数十万件の取引を処理しています。スタッフがビル全体で飲食物を注文し、セキュリティパスをタッチするだけで、支払いができるようにしたいと考えていました。」

NOMURA



「少ない資源でより多くのことを行い、
廃棄物を削減することを目的に、
HP Engage One Primeを会議室に導入し、
個別に飲み物を注文できるようにしました。」

ノムラ・インターナショナルPLCロンドン 施設管理担当 ポール・ガーデナー氏

50%

コーヒー廃棄の削減



4年:イギリスで最も健康的な企業

一目で分かるソリューション

ハードウェア

- HP Engage One
- HP Engage One Prime
- HP Engage One 2Dバーコードスキャナー
- HP Engage One Prime レシートプリンター

ソリューション

キャッシュレスケータリングの実現

HPのPOSソリューションは、HP Engage OneとHP Engage One Primeを中心に構築されています。行員が通う社員食堂には、HP Engage One 2D バーコードスキャナーとEngage One Primeレシートプリンターを搭載した2台の機器が設置されています。そこではセキュリティパスを使用して決済することができて、購入プロセスは完全にキャッシュレス化されています。

すべての会議室にHP Engage One Primeデバイスが設置されていて、クライアントはホスピタリティ・パントリーに直接、配送の注文をすることができます。注文・決済ソフトは、次世代POSソリューションのスペシャリストである、Systopia社が開発しました。ノムラにとって、Systopia社からのシステムの提供は、非常に重要なものでした。「Systopia社は、キャッシュレスパスウェイの開発において市場をリードしています。また、キャッシュレス・パスウェイを構築する市場のリーダー的存在であり、私たちが抱える複雑な問題に対応するのに十分な経験を持っています。」とガーデナー氏は説明します。

外観の美しさもまた、重要な要素でした。「私たちのビルは、印象的でモダンなデザインです。それを反映したソリューションを求めていました。」とガーデナー氏は続けます。「HP Engage Oneの洗練されたデザインは、私たちが求めていたものと、まさに一致していました。」

HPのソリューションは、ロンドン本社全体でケータリングを管理するための、安全で安定したプラットフォームを構築します。外観の美しさはより洗練されており、決済はより早く行われます。現金取扱手数料もかかりません。

成果

よりスマートに、より速く、よりダイナミックに

Systopia社のソフトウェアを使って購入プロセスをデジタル化することで、ノムラ側の業務の最適化も可能になります。繁忙期にリソースを割り当てたり、購入傾向に基づいて、スタッフにプロモーション情報を送ったりすることができます。また、季節に応じてメニューを決めたり、特定の商品の売上が低迷している場合は、在庫調整をすることも可能です。廃棄物を削減し、効率的なケータリング運営に貢献をします。

Systopia社のシステムは、売上や製品の購入状況を正確に把握することができ、サービスの交渉が進んでいる時に、サプライヤーとの交渉に役立つ情報を提供してくれるとガーデナー氏は言います。

顧客を案内する施設内では、一般的なケータリングではなく、HP Engage One Primeを使用して個別のオーダーを作成により、会議室内でのパーソナルな体験を提供することで、顧客とのエンゲージメントを高めることができます。これは、銀行の顧客層を考えると、期待されているサービスレベルになります。「ビルの中には、多くの異なる売店があるため、安定したシステムを持つことが重要です。」とガーデナー氏は言います。「HPとSystopia社を連携することで、我々は、先進的なソリューションと、開発プランを手に入れることができました。」

詳しくはこちら https://jp.ext.hp.com/retail-solutions/engage_one/

導入事例を動画で視聴

<https://www.youtube-nocookie.com/embed/QcwyLvS8WFc>

© Copyright 2019 HP Development Company, L.P.ここに記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。HPの製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証書に記載されています。ここに記載されている内容は、追加の保証を約束するものと解釈されるべきではありません。HPは、ここに含まれる技術的または編集上の誤りや情報の漏れについて責任を負いません。

